

社会と教会
生活と信仰
平和・人権
分かち合い

共生に生きる

聖家族有志会報

ふみづき
文月
7
2012

No.21

編集/〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 アドトラック内 / 瀬下幸弘

6/3 秋吉久紀夫先生

「南京虐殺」を語る



1966年(日中国交回復前)私は日本
学術団体からの声掛けで中国を訪問
することになった。羽田から香港へ、
汽車で広州へ飛行機で武漢そして上
海経由でやっと南京に着いた。南京
の金陵ホテルから外へ出ようとする
と中国語で「危険だ、危ない」と叫ば
れた。とっさに1937年12月13日前後
の南京でおこった大虐殺のことを…
(2p)

あじさいの
輪(和)が
広がる

(編集後記)



隠されてきた内部被曝から いのちを守るために

隠されてきた内部被曝から
いのちを守るために



監修 矢ヶ崎克馬

脱原発・自然エネルギーを考えるカトリック市民の会

(1部100円)

北九州市では、東北被災地の
がれき受入を決めています、
市民レベルでは議論が続いてい
ます。キリスト者・九条の会では、
このリーフレットを購入しました。
脱原発・自然エネルギー社会に
向かって共に歩んでみませんか。

お申し込み

FAX(093)622-1290 瀬下まで

原発事故直後から、国や専門家によつて広まった放射能安全
キャンペーンに疑問を持ち、被曝労働者や子ども達を被曝から
守るための真実を知りたいと発足。矢ヶ崎克馬先生の講演を2
012年2月12日に四ツ谷ニコラパレにて開催。カトリックに
限らず多くの市民に、内部被曝の危険を知らせるためにこのリ
ーフレットを(6月下旬に)発行。

脱原発・自然エネルギーを 考えるカトリック市民の会

リーフレット
発行

お知らせ

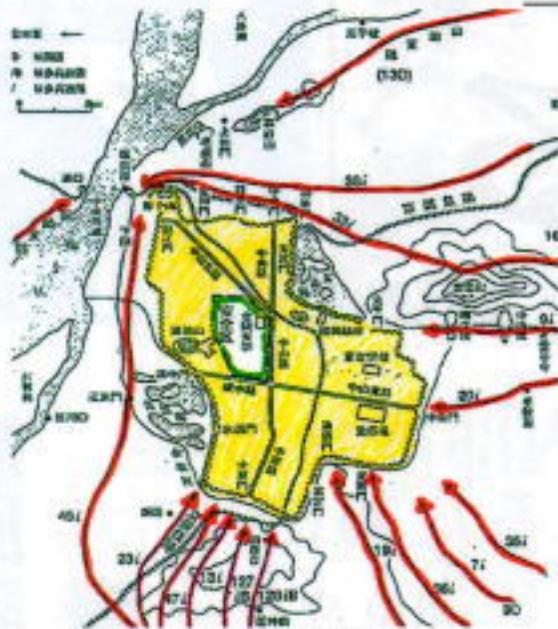
- ◆7月8日(日) 英語ミサと交流(黒崎) …15時
- ◆7月9日(月) 社会福音部会(テレジア) …19時
- ◆7月11日(水) イチイチ祈りの会 援助修道院 …19時
- ◆7月13日(金) ホームレス支援炊出…13時~18時位
- ◆7月15日(日) 信徒協会則の協議(小倉) …14時
- ◆7月22日(日) 虹の会(分かち合い) …ミサ後
- ◆7月25日(水) ACO福音の分かち合い(天神町)…10時
ACO例会(天神町)…13時
- ◆7月28日(土) 九条守りたい(西南KCC) …14時
- ◆7月29日(日) 平和の集い実行委員会(戸畑) …14時
- ◆8月4日(土) 教区信徒協研修会準備(大名町)…13時30分

マザー・テレサの祈り あなたの中の最良のものを

あなたの中の最良のものを、世に与えなさい。
蹴り返されるかも知れません。
でも、気にすることなく、最良の物を
与え続けなさい。

援助修道会 **修道院より**

7月11日:イチイチ祈りの会
場所は**修道院聖堂**、午後7時から。
どなたでもお出でください。



南京城に迫る日本軍

2年ぶりに教会で開催でき。ACOの皆さんに感謝です。資料にあった左図は、黄色の部分が南京城、赤矢印は日本軍です。ここに至るまでの日本軍の数々の蛮行も含め、南京城内のおびたしい兵士や一般市民は、包囲された状態の中ですから逃れられません。日本軍の猛攻撃に屈した中国国民党兵士や市民がこの後、どうなってしまったか…。この図からだけでも大虐殺の真相が見えてきます。いま日本で少なくない政治家たちが歴史の真実を意図的に改ざんしようと発言しています。それは平和にとっていかに危険であるかを私たちが気付くときでもあるでしょう。「過去を振り返ることは将来に対する責任を担う」と述べた教皇パウロ二世に倣い、真実を語り継ぐ使徒として、いま共に働くときだと思います。

当時小学校に通っていたが、「南京陥落」と言って全校で行進した。戦後、南京虐殺のことが公開されるようになったが、当局は出来るだけ知らせないようにした。

今年2月に河村市長(名古屋)が「一般的戦闘行為はあったが大虐殺はなかったのではないか」と発言。同日定例会議でも「虐殺はなかった」「そういう話をするのは政治家の使命」と述べている。中国外務省報道局長は直ちに反論した。「そのような見方には賛成できない。証拠がある」と。石原慎太郎知事は4日後、「彼

(河村市長)を弁護したい。なかったのだ」さらに「死体はあったが山と積むようなものはなかった。あれほどの人を殺せっこない」と反論。直ちに中国国内で大反響を引き起こし、名古屋市では、公式行事等が中止となった。中国側は、日中文化交流の延期を発表。市長の配慮に欠けた発言はまさしく白日に晒されるはめになった。(文責/編集部)



修道院

イチイチ祈りの集い

(援助修道会 6/11日 PM7:00)

福島からご家族を連れて広島に避難してこられ、東奔西走しておられる等々力隆弘様が、3月11日広島平和公園でなされたメッセージを聞きました。

♪ すべての人の平和を願い、全ての人の平和を祈る。

「震災について、ひたすら振り返る余裕もなく1年を生きました、不慮の死を遂げた故郷の同胞たち！ 名も無い下請け作業員の命を弔う余裕も配慮もなかった自分は、この日をひっそりと供養にあてて過ごそうと考えていたのですが、この時間を頂いたことを生き残った人間としての使命と思い物故者に替わり、この場に立たせていただきます。

わたしは故郷の広島に昨年生まれた息子と連れ合いを連れて帰り原爆被爆者の方とのご縁を頂いて、愕然としました。恥ずかしいことですが、被爆への切実な取り組みがいまだ続いているのをはじめて知りました。1945年の原爆から67年たった今、これにかかわる全ての人の来し方行く末がいやおうなく問い糾されなければならないことを訴えます。」

「3・11以前のわたし自身への反省は、原発反対を人に言ってるつもりが、実際は空に向かっていっていたこと、たとえどんな茨の道であろうともこれから廃炉への道を歩むのは、原発推進、廃止の同行の二人でしかなしえないと、原子力建屋のしゃれこうべが語りかけてきました。」

♪ 皆しむ人の平和を願い、皆しむ人の平和を祈る。

震災ガレキを活用する取り組み紹介 (菜)

ご存知ですか？

「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」始動！！

被災地の実情、北九市の現状、放射能の危険、被災者が求める真の支援とは？を考えると、瓦礫を生活されていた形見として丁寧に扱い、次世代への防波堤として活用していこうという活動が始まりました。東北の地でお亡くなりになった方々への鎮魂の意味を持つ、このプロジェクトに多くの人々が今、期待を寄せています。



震災ガレキは、被災地の方々にとって、その土地に息づいていた生活の形見です。

YouTube・日本記者クラブ公式チャンネルより
<http://YouTube.com/watch?v=1xwb69ejf64&feature=colike>

北九州平和の集い
 8月12日(日)
 カトリック北九州教区長 前田万葉司教を迎えて

6月24日、門司教会の掲示板に平和の集いポスターが貼ってありました。みなさんの教会でも貼っていますか。

尊いいのち・新しい生き方を
 いますぐ原発の廃止を

午前9時～12時 平和祈願ミサ
 午後1時～4時 平和の集い (カトリック中津教会)

平和推進会議先
 東日本大震災被災者支援 (IAMH-エースエフ)

ひと息コーナー



畑貯水地ダムからの眺望



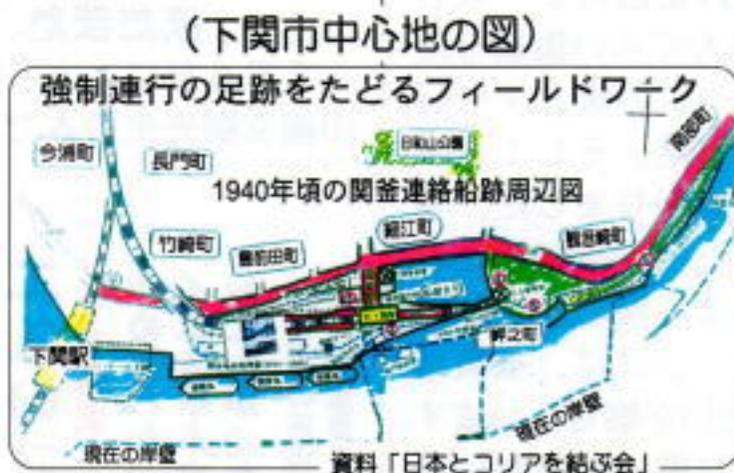
夏本番、わたしの出番はいつ...???

強制連行の足跡をたどるフィールドワークに参加して 有吉優里(大学生)

快晴の6月9日、朝鮮学校の生徒たち、在日のお年寄りの方などを含め約30人の人々がスタート地点である関釜連絡船旧棧橋跡に集まりました。

フィールドワークでは、今まで何気なく歩いていた下関の街に新たなる深い意味を与えてくれました。いくつもの大型の船が強制連行に使われていたそうですが、米軍の潜水艦の追突後、生きようと必死で泳ぐ人々を(日本の兵士が乗っていると思い)米軍が撃ったこと、電車の遅れによりその船には日本兵が乗っていなかったことなどを聞き、戦争の犠牲になった多

くの人々の無念さを考えさせられました。解説をしてくださる方々がみなよくわからないほどどうやむやにされた倉庫群での収容の事実などを聞きました。



そこでノンフィクション作家の林えいだいさんの話も出てきて、筑豊炭鉱で学んだときのあのショックを思い出すとともに、事実を隠し、ひどい場合には否定することの罪深さを感じました。

このような過去のことについてももっと知って、伝えていくことの必要性を実感しました。次回も参加したいです。



聖書朗読テープがCDになりました

ルカ福音書は
CD 4枚です。
1枚200円で
計 800円。

※ 10数年前、黒崎教会の信徒約30名が、病床におられる方や聖書を読むことが困難になられた方の為に、新約聖書の朗読テープを作りました。それをこの度CDに致しました。

五月から「マルコによる福音書」の朗読CDを作りお分け致しました折、CD代として頂きましたお金と献金合わせて6100円は、福島への援助をしておられる修道会の献金箱に入れさせて戴きました。

マルコ福音書のCDを聞かれた方から「あれ

は自分で聖書を読むのと違って、又良いものですね。」「何か新鮮でどこでも暖かいものを感じた。」等云って戴きました。

この度、ルカによる福音書のCDも出来上がりました。ご活用戴けるとうれしく思います。ご希望がありましたらお分け致します。

(竹井)

読者投稿

視点を変える (Y)



初心者マークを前後に貼り、ワイクの運転する軽自動車に初乗りをした。助手席からの眺めは別世界。わずか70センチほど左(助手席)に座っただけで、新しい世界を垣間見た瞬間だった。視線(目線)を動かすだけなら楽なものだが、視点を変えることはそう容易ではない。自分が安心して居られる場所から、不安な位置へと交替するからである。それでも視点を変えたことで、気付かなかったことや見えなかったものが、自然と自分の中に入って来るのを感じた。これからもワイクの路上運転が慣れるまで、もうしばらく(あるいは長期に)おつき合いとなるだろうが、視点を変えた楽しさも味わいたいと思う。

Nさんから聞いた嬉しいこと

わたしにとっての出会い (N)

幼稚園に通っている近所のお嬢ちゃんに声をかけました。「キョウハタノシイコトガイッパイアリマスヨウニ」すかさず「Nサン、キョウ、ヨイコトガキットアリマスヨウニ」 予期しない言葉に思わず心は暖かくなりました。私が、ごみのネットを広げるのに格闘していると「オカーサン! テツダッテアゲテ」と叫んで!

このお子さんは、熱心な金光教のご両親に信仰深く大事に育てられている4人兄弟のおひとりです。亡くなった主人のお葬儀にお供えを持ってきたお二人のお子さんに、「オジチャンニアゲテチョウダイ」と申しましたら、子どもさんは祭壇の十字架の存在に気がつきましたが、

お供えを置いて、お行儀よく手を合わせて丁重にお祈りをして帰りました。宗教こそ違うけれど、信仰の内に大切に育てられているお子さんに、心暖められています。

ツイッター

佐賀県の信徒さんからの手紙を紹介。

さよなら原発! 佐賀集会に参加

「佐賀地区各教会の会長に案内を送付し、数名が参加しました。当日は2000人ぐらい集まったそうです。主幹団体のメッセージの後、デモ行進があり、私たちも参加しました。そして日本カトリック司教団メッセージを配りました。4月の福岡教区報に司教団メッセージが掲載されていますが、知らない人が多く、関心が少ないと思いました。司教団メッセージには、被災地日本から発信せねばとの強い思いが察せられます。私たちもその思いを自分自身に問いかけねばならないと思います。これから先も原発の問題は続いて行きます。私たちもその思いを忘れず発信し続けねばと思っています。 KN」

またまた、ご紹介。(菜)

5月6日に、大名町教会でお話された山浦玄嗣先生の本です。

文春新書
イエスの言葉
ケセン語訳
山浦玄嗣
初めてわかった!
イエスが本当に
伝えたかったこと
被災地の医師がふるさとの言葉で聖書を訳した



奄美のカトリック教会の歴史から 学んだもの(4)

〈軍部の台頭と奄美との関係〉

前号の続き(谷司教講話より部分抜粋)

・奄美の植民地支配は、薩摩時代から続き、廃藩置県によって日本の領土になった。国内では関東大震災の後に治安維持法ができた。それから教化総動員運動というのが起こった。民衆総動員計画を具体的な数字にしていく運動団体が出来上がっていく。そして全国教化団体連合会が全国に広がりその一方、特高警察が強化されていく。そこから宗教もだんだん管理され、廃れていくようになる。

・奄美では1927年、天皇が来島。これが大きなきっかけになり奄美全体がヤマトに対する島意識からヤマト化への方向が始まっていったのではないかと天皇が来島したことや要塞司令部が出来たのも奄美という意識を醸し出したのかもしれない。

・その中で、奄美国防研究会などが中心となりキリスト教を迫害していく。鹿児島島の陸軍退役軍人がマスコミ界に入り、軍隊の手先になって宣伝し始める。奄美大島のキリスト教以外にも、陸軍主導の下で、天皇教の徹底した教育・宣伝が行われる。それが奄美のカトリック弾圧につながってゆくようでもある。・1931年満州事変で軍部の力が肥大、暴走し始める。5・15事件で犬養首相の暗殺。1934年には国防の本義とその強化、これは天皇教そのものの指針が発表される。同年、奄美で角和少佐が、キ

リスト教を全滅させるぞというような講演を行なった。国防を強化、徹底するには、キリスト教を迫害する、絶滅させるしかない、こういう形になっていったようである。



迫害の歴史を証言された押川はるかさんは、大島紬の機織職人で三味線の名手でした。大熊教会信徒会館にて、押川さん御夫妻が島唄を披露して下さいました。その後は、全員で楽しく踊りました。奄美大島の宴会は、夜9時過ぎからが本格的に盛り上がるそうです。

〈平和憲法とキリスト教〉

・1945年、日本は敗戦を受け入れ、神道指令を進駐軍が出し、46年、天皇は人間宣言。47年、日本国憲法が制定され憲法20条ができた。これにより初めて日本の宗教界は信教の自由を得た。

・はじめの出エジプトの奴隷からの解放とイエスの解放は、人間の解放でもある。奴隷の家から解放された社会を目指して作って行こう、それは、一人一人の人間の解放につながらなくてはならない。日本の宗教、国家は数々の弾圧を行ってきた。弾圧された民の叫び、それを神様は聞かれる。だから奄美の声も神様に届けなければいけないと思う。

(次号に続く)



分かち合いのとき

6月24日 16名参加
聖心の月

次回、7月22日
どなたでもご参加
ください。

「イエスの心=聖心を私たちの心と重ねる。
しかも心の上っ面でなく、心の芯を。『芯重』」

下関労働教育センター長
林尚志神父(イエズス会)著書
『石が叫ぶ福音 喪失と汚染の大地から』

「・・・原発の安全神話の崩壊を言うと共に、私たちは何を大切にしているか、という価値構造の問い直しが必要だと思います。・・・」
社会の中で、福音化に向けて一人一人が共に生きる。その事の大切さを改めて実感しました。

(一新しい人—心の内部被曝)をもとに分かち合いました。

ハンセン病問題から見えるもの

く差別の垣根を取り除くために(2)

お話／阿部智子さん(菊池恵楓園入所者)の要約です。

(前号の続き) 国の政策によって家族も多くの被害を被ってしまいました。「らい予防法」という法律そのものが、憲法に違反しているとして1998年に「違憲国家賠償請求」訴訟の裁判をおこし、3年後の2001年に熊本地裁で判決が下されました。

(※判決引用「ある者は、学業の中断を余儀なくされ、ある者は、職を失い、あるいは思い描いていた職業に就く機会を奪われ、ある者は、結婚し、家庭を築き、子供を産み育てる機会を失い、あるいは家族との触れ合いの中で人生を送ることを著しく制限され」一人として当然に持っているはずの人生のありとあらゆる発展可能性が大きくそこなわれるのであり、その人権の制限は、人としての社会全般にわたるものである」判決文ではこれを「人生被害」と表現している。)

国は裁判に負けて、時の小泉首相が謝罪し、厚労大臣、県知事もここ(恵楓園)に来て謝罪しました。その後、何故このような取り返しのつかないことが起きたのかを明らかにするための検証会議がもたれましたが、未だに放り出されている感じがします。人間として扱われて来なかったことなどを、みなさんに伝えるにはとても難しいです。

ここでの男女共同生活のこと。私が知っているのは、園内で結婚しても同居できない、いわば通い婚の状態のことです。そのことを書いてある文章がここにありません。一夜中に見回りの職員が来る。飛び起きて(男子寮に)帰らなければならぬ。—そういう結婚の形がありました。戦後になって新たな「らい予防法」が

出来るとき、身体を張って反対しましたが、法律が通ってしまいました。その2、3年前には、戦前よりもっと大々的にハンセン病患者を隔離する方針が国によってたてられていました。先程の通い婚は昭和26年に解消しましたが、その代わりにハーモニカ長屋と呼ばれる夫婦寮が出来ました。それでも小さいながらふたりだけの生活が出来ると嬉しかったそうです。その2年後に先程の「らい予防法」ができてしまい、終生隔離の道がつくられました。

ここに入所した時、手続きの最後に「死んだら解剖していいか?」と聞かれました。「えっ何ですか?」と問い返すと、「ここで死んだらみんな解剖するのでそれをしていいかということだ。」子どもだった私は「はい、いいです。」と答えましたが、やはりここは終身刑務所であり、ここで死ぬんだなあと思いました。天に向かって手を掻きむしるような思いで我慢し続けてきました。

最近、私は人に会うと別れを意味するから新しい出会いはいやだと思っています。昨日も友人が亡くなりました。出会わなければ別れないので、出会いたくないと思ったりしています。それで結婚することも避けていました。つまり毎日が続いたので結婚すると気持ちが悪くなるかも知れないと決意しました。それでも辛い別れがありました。結婚すると、お互いに避妊手術をする決まりがあったのです。私は、妊娠したことがわからなくて、お腹の子が大きくなり産みたいと思っていました。強制的に堕胎させられました。

(次号に続く)

編集後記

5年前に、現在の事務所に移転しました。移転の記念にと、Tさんから見事な藍色の紫陽花(あじさい)を戴きました。それをAさんにお裾分けしたところ、庭で沢山の花を咲かせました。5年が経ち、今度はAさんがその紫陽花を分けて下さいました。その見事な藍色の花をOさんにもお裾分けしました。ひとつの鉢植えの花が大きくふくらみ、人から人へと喜びを分け合うことができました。Tさんにそのことをお伝えすると、大変喜ばれました。社会の中もこのようであってほしいと思います。(瀬下)